



NSバートルクライ

#197

9 / 2023 (134)

レキシコン - Michael Kühnen

45 - 残虐なプロパガンダ

1920/30年2月24日に国家社会主義ドイツ労働者党が創立されて以来、特に第二次世界大戦で第三帝国が敗北した後は、残虐行為の宣伝は、国家社会主義に対する闘争において、敵側の絶え間ない有効な武器となってきた。残虐なプロパガンダは、こうして思想と党について完全に歪曲した冷酷な



イメージを描くことに成功し、それは新しい世代の国家社会主義にも拡大され、今日でも大衆のイメージを決定付けているのだ。

残虐宣伝の最も重要な「主張」は、ユダヤ人の計画的絶滅（ホロコースト、最終解決も参照）の嘘、戦争責任の嘘、国家総動員でヴェルキッシュの背後に隠れるとされる独裁を意図したスローガンなどである。という主張と同様に、国家社会主義者が異民族の構成員を単に人間以下の存在とみなしているという主張がある。しかし、生政治的な思考を持つ国家社会主義は、人種や民族の違いを主張するのではなく、むしろその違いを主張している（「差異」も参照）。このようなことで、終戦以来、残虐宣伝は、実際に、政治を形成する闘いから国家社会主義を完全に排除し、フェルキッシュ運動全体を守勢に立たせることができたのです。

国民的野党全体が支持する修正主義的歴史学の大衆教育は、残虐なプロパガンダに向けられたものである。これも新前線のコミュニティの賛同を得ているが、残虐なプロパガンダに対する防御を自らのプロパガンダの焦点にすることは拒否している。

それどころか、どんな残虐な嘘に対しても永遠に防御することなく、無視し、攻勢に出る。このようにして、敵の残虐宣伝は、その卓越した心理的意味を失い、新戦線の戦略がもたらす大衆心理の逆転の過程によって、最終的に無能にされるのである。

46 - HEAL

救いは、ゲルマン民族の生命概念や観念世界に古くからある概念である。意味を包含していた。幸福、生きる意味、国家・一族・家族・個人の繁栄、神々との契約、運命の肯定、生きる喜び。この言葉はゲルマン民族の概念世界から、ドイツのフェルキッシュ運動に入り、ついには国家社会主義に入り、その挨拶に救いの願いを込め、「ドイツ語挨拶」として採用された。

退廃に陥り、伝統から切り離され、種と自然に反する生き方によって生命の法則から疎外され、アーリア人（アーリア人参照）の差し迫った種の死に翻弄され、病んでいるが、国家社会主義はその生存と再繁栄を可能にしようとしているのだ。だからこそ、救いを求めることは、国家社会主義者

の生活態度の中心概念であり、旧世界に対する宣戦布告であり、新秩序へのコミットメントなのである。

国家社会主義は、救いを、倫理的に質の高い思想に奉仕するアーリア人の知識、意志、行動の統一と具体的に定義している。この一体化が、人間が人格者になることを可能にし、その前提条件となる。知識、意志、行動、すなわち、認識、意志、行為-このように、国家社会主義者の人格概念の基礎となるものである。

知識は、生物学的ヒューマニズムという国家社会主義の認識論によって伝えられる。

は、政治的闘争運動である国家社会党（国家社会主義ドイツ労働者党を参照）の決定的な前提条件となるものである。

その行為は、国家共同体の種の保存と発展を保証し、それによって新たな高度の文化を実現する、生存のための闘いとして実現されるのです。

これはすべて、国家社会主義者の価値理想主義という倫理観の一環である。

このようにして、国家社会主義は、再び民族と民族の救済の担い手となり、ゲルマン的救済概念の伝統を継承する人々、総統アドルフ・ヒトラーの言葉を借りれば、国家社会主義者として「民族と人格の最高の価値」を体現する人々を養成するのである。

47 - ホロコースト

第二次世界大戦中の大量殺戮計画に関連して、ナチス・ドイツが約600万人のユダヤ人を、その大部分が「ガス処刑」によって殺したという主張--シオニストのキャッチコピーは「ホロコースト」--は、反ドイツ残虐宣伝の最も人気のある非難材料である。しかし、実際には、修正主義的な歴史学がホロコーストの告発を批判的に検討して久しく、国家社会主義の世界運動は、この告発が政治闘争と物質的・道徳的脅迫の道具であることを暴いたのです。しかし、敵の残虐な宣伝に反論することは、新戦線の宣伝の

仕事ではありません。これは大衆教育（党内：トレーニング）に任せる。その代わりに、新戦線は、ヨーロッパ文化、思考と感情、アーリア人の意識と潜在意識に及ぼすユダヤ教の影響を克服し（アーリア人を参照）、シオニズムの政治的権力主張と世界的陰謀を断ち切るという国家社会主義の目標を誇らしく公言している。この2つは、新戦線も目指しているユダヤ人問題の最終的解決を通じて達成されるものである。

この最終的解決策を積極的かつ攻撃的に要求し、その内容を説明することは、最終的解決策がユダヤ人の物理的抹殺-ホロコーストを意味するというシオニストの主張に対して、最も可能性が高く、効果的に反証することになります。これは、シオニストの隷属、道徳的脅迫、財政的搾取の鎖を断ち切り、ドイツ民族の自由を回復するために重要な貢献をするものである。

48 - 帝国主義

帝国主義とは、ある権力政治的、経済的、文化的共同体が、他の新鮮な共同体を支配しようと努力することである。したがって、権力的・政治的帝国主義（アメリカやソ連のような）、経済的帝国主義（先進国の第三世界に対する支配）、文化的帝国主義（特にアメリカニズムのそれ）があり、これらは常に峻別できるものではなく、しばしば同一の帝国主義の異なる表象を表しているに過ぎない。人間の平等という教条主義に基づくすべてのイデオロギー（例えば、自由主義、マルクス主義、ユダヤ教化されたキリスト教）は、しばしば帝国主義の利益に貢献する。帝国主義の最も極端な形態は、今日のシオニズムとフリーメーソンを特徴づけるように、世界支配のための努力である。

これに対して、国家社会主義は、生物学的な思考に基づき、人種や民族の多様性（差別化も参照）を主張し、そこから自己決定権や自由への努力や闘争を導き出すものである。国家社会主義は、帝国主義に対抗して、人種と民族によって分けられた大規模な有機的秩序を生み出し、さまざまな民族共同体の種の自由、保存、発展を保障する帝国（「帝国」を参照）の思想をもっている。

これに基づいて、新世代の国家社会主義は、アーリア人（アーリア人を参照）の国家共同体の看板の下に、新秩序を目指すのである。ドイツとヨーロッパに関しては、新戦線は第四帝国のために戦います。この帝国は、ゲルマン人、ローマ人、スラブ人の連合体を包含し、北アフリカ、小アジア、近東のイスラム世界と強固な同盟関係を結び、より大きなヨーロッパの生活空間の一部として数えられることになる（トルコ人、パルシー、東インドヨーロッパ主義も参照されたい）。新秩序の勢力圏では、すべての帝国主義が克服され、人民の自由が確保されるのである。

49 - 個人主義

今日のマイナス世界の近代的個人主義は、ヨーロッパ人を中世キリスト教の教条主義の強迫観念から解放し、自己責任、自由、自律した人格として理解しようとした啓蒙主義の革命の生活態度に遡るものである。この思想は、啓蒙主義全体の思想と同様に、人間の生物学的性質を無視し、人間は孤立した個人としてではなく、共同体の存在としてのみ価値と意味のある人生を送ることができるという事実を無視したために失敗したのだ。

こうして、啓蒙主義の当初の理想主義的個人主義は、たちまちブルジョアジーの生涯の嘘に墮落し、ブルジョア人間の利己主義と唯物論の正当化となった。そのブルジョア人間は、現在におけるアーリア人種の退廃そのものとなった（アーリア人を見よ）。政治的には、個人主義は自由主義というイデオロギーに、経済的には資本主義という経済形態に具現化されている。

国家社会主義は、ブルジョア個人主義のエゴイスティックな大衆の人間像と、労働者としての人間像、すなわち、自由を自己利益のためのイチジク葉としてではなく、共同体への奉仕として理解し、それによって真の人格に成熟する、共同体に縛られた人間像を対比させ、それが国家社会主義の価値理想主義という倫理学の目標である。

50 - 国際性

すべての国際主義は、すべての人間が平等であるという教条的な信念の

産物であり、それは自然科学によってとっくに反証されている（教条主義も参照のこと）。この人間の平等に対する誤った信念が、国際主義を生み出し、すべての人間を思想的、政治的、文化的、社会的、宗教的に単一の-国際的-システムに従わせようと一貫して考えている。この国際主義は、さまざまな形で、また相互に矛盾し、競合する形で存在し、現在の重要な政治的、宗教的潮流のほとんどを支えている。自由資本主義、マルクス主義、キリスト教、イスラム教、フリーメイソンなどは、国際的な指向性を持っている。

国際主義は、その最も明確な表現と論理的帰結を、まず帝国主義において、そして最後に世界支配の目標において見いだすのである。しかし、現実には人間は平等ではなく、生物学的に人種、民族、両性に分かれているため、世界支配は残虐な専制政治か、平等主義的で退廃的な唯物論的世界文明としてのみ可能である（唯物論、退廃、アメリカニズムも参照のこと）。

シオニズムは、世界支配を目指す国際主義と手を結んでいる。しかし、シオニズム自体は国際主義の思想ではなく、ユダヤ教の極端な民族主義・人種主義的な運動である。

シオニズムは、世界支配を目指す世界ユダヤの組織的権力である！

しかし、シオニズムは、ユダヤ人至上主義のもとでの「一つの世界」を、誤った、そして騙された信奉者に望ましいものとして見せるために、意識的かつ集中的に、すべての国際主義の表現をその支配下に置くよう努力している。これに対して、国家社会主義は、人種や民族の自由と多様性を擁護する（差別化の項も参照）。

国家社会主義は世界的な運動でもあり、すべてのアーリア人（アーリア人参照）を含むが、国際主義ではなく超国家主義である。その原則は、平等や平等主義ではなく、生命の多様性である。その超国家的目標は、世界征服ではなく、アーリア人種とその民族の保存と発展である。また、人種差別を排他的に行い、白人以外の人種の信者を募集していない。したがって、国家社会主義は、あらゆる国際主義に対抗し、人民の自由のために、世界支配の専制や退廃に対抗し、種と自然に基づいた人民の共同体に人種

的に分けられた世界秩序のための防波堤である（「新秩序」も参照）。

51 - イスラム教

イスラム教は、セム族の思考と感情に由来する教義的な啓示の宗教である。したがって、ユダヤ教、ユダヤ教の影響を受けたキリスト教、マルクス主義、自由主義、その他すべての教条的なイデオロギーと同様に、アーリア人にとっても異質なものである（「教条主義」も参照のこと）。アーリア人種の生活空間における疎外感を助長するものである限り、それは否定されなければならない。

しかし、より重要なのは、イスラームがアラブ人の主要な宗教であり生活様式であるという事実である。イスラームは、その教えゆえに、自由資本主義やマルクス主義の影響を全く受けない。したがって、アラブ民族は超大国アメリカやソ連の帝国主義に無条件で対抗できるのである。これに加え、アラブのシオニズム拒否が、イスラムの力とメッセージによって「聖戦」となっている。最後に、イスラムは利権に隷属することを厳しく禁じており、したがって国家社会主義の理想的な同盟者であり、資本主義に対する強力な防波堤である。

これらの理由から、新戦線思想界はイスラムを非常に積極的な外交的要因と見なし、新秩序とその第四帝国の枠内で、支配的なマイナス世界との闘いにおいてイスラムとの同盟を模索している。

52 - ユダヤ人

ユダヤ教は、宗教的共同体としてではなく、何よりもまず民族として理解されなければならない。それは、共通の言語、文化、歴史を持ち、宗教に裏打ちされた過酷な人種法によって守られた共通の血の混じった、アーリア人種の民族とは異質な独立した民族である。だからこそ、国家社会主義はユダヤ人とアーリア人の人種的隔離を要求するのである。

とはいえ、ユダヤ人とアーリア人の人種的混血の政治的意義は、おそらく歴史的に大きく過大評価されてきたと思われる。この混血よりも重要で悲

惨なのは、精神的な力としてのユダヤがアーリア民族の文化史に浸透していることである。だからこそ、国家社会主義ドイツ労働者党の党綱領は、第24項で「われわれの内外のユダヤ人唯物論的精神」への抵抗が、ドイツ民族-これはすべてのアーリア民族に準用される-の回復のための前提条件であると宣言しているのである。

この「ユダヤ的唯物論精神」は、ユダヤ人の生活を全面的に規制し、決定しようとするユダヤ宗教に由来し、人々の生活と人々の宗教の同一性が追求される。精神的宗教的権力としてのユダヤ教とその致命的な影響の特徴は、何よりも教条主義、狂信主義、平等と個人主義のイデオロギーであり、これらはすべてアーリア人の精神とは完全に異質のものであるが、アーリア文化におけるユダヤ人の影響によって歴史的に強力になったものである。

この影響は、キリスト教に始まり、非宗教的な形で、マルクス主義、自由資本主義、精神分析など、他の多くの教義的イデオロギーにおける生活態度として続き、最終的には、いかなる精神的 content も完全に空っぽにした唯物論に行き着いた。ユダヤ教はこのように、アーリア人の人生と世界に対する自然な理解からの疎外、彼の本性と文化の間のギャップに歴史的に本質的に関与しており、したがって彼の退廃の重要な原因となっていたのである。

だからこそ、ユダヤ教に対する国家社会主義の闘い、すなわち反ユダヤ主義は、退廃したマイナス世界に対する闘い、新秩序のための闘いの重要な部分なのである。この反ユダヤ主義の闘いは、何よりも思想的、精神的な防衛闘争であり、ユダヤ人、あるいは個々のユダヤ人に影響を与えるものではなく、ユダヤ人の思考と感情のアーリア人への影響を断ち切りたいし、断ち切ることになるのだ。

アーリア人にとって異質な上記の態度や感情に加えて、ユダヤ教の宗教は、世界征服という目標によって特徴づけられているのです

このユダヤ教のパワー・ポリティカルな目標は、シオニズムという政治運動に具現化されている。これは、ユダヤ人の意志を担うユダヤ民族運動を表しており、したがって、世界征服を目指す無宗教のユダヤ人をも包含している。

したがって、シオニズムは、国家社会主義に対する政治的防御であり、それは世界ユダヤ人の組織的権力であるからである。国家社会主義がユダヤ人を絶滅させることによってユダヤ人問題を解決しようとする、いわゆるホロコーストというのは忌まわしいプロパガンダです。それは、個々のユダヤ人を迫害することでも、民族全体を絶滅させることでもなく、アーリア民族をすべてのユダヤ人の影響とシオニストの権力から解放し、独立させる政治的最終解決策によって解決されるべきものである。

卍の下で楽しむ

ゲルハルト・ラウクによる逸話集

出版社NSDAP/AO, PO Box 6414, Lincoln, NE 68506 USA

nsdapao.info & nsdapao.org

Copyright 1993 NSDAP/AO

米国で印刷されたものです。

22.

行きつけの喫茶店に入ると、知人が興奮気味に私をテーブルに呼び寄せた。彼は、私に見せたいものがあると言った。彼はポケットに手を入れ、近くに座っている人に見えないように慎重にそれを取り出した。

彼が明らかにしたものが、NSDAP/AOの*Niggers Beware*のステッカーであることが判明したとき、私は驚きました。明らかに、私が定期的に「種まき」をしている隣の書店で手に入れたものだ。(どちらも震災で吹き飛ばされた。本屋は仮設テントで再開した。ステッカーが手に入ったら、種明かしをしよう)

他の人にも見せると言っていたので、それは素晴らしいアイデアですねと言いました。

23.

ハインリッヒは、西ドイツ軍（「連邦軍」）の文官として働いていた。彼は“地元のナチス”としてよく知られていた。

ある日、150人ほどの新入社員のグループが訓練のためにやってきた。数日後、基地の建物の壁に、17インチ×22インチの赤白黒の大きなNSDAP・AOのポスターが貼られました。

この“犯罪”を調査するために、3人の軍事情報部員（“M.A.D.”）がハンブルクからはるばるやってきた。当然、彼らはハインリッヒを尋問した。

「いや、僕はやっていない。誰がやったかも知らない」と正直に答えた。

一週間後、彼はポスターが発見されたのと同じ場所にNSDAP/AOのステッカーを貼った。

ハインリッヒと見知らぬ同志が出会うことはなかった。しかし、その後、各自が一人ではないことを知った。

24.

初めてヨーロッパに行った時、一番安かったので、「アイスランド航空」を利用した。当然、その事実が多くの国家社会主義者を引きつけることになった。

アイスランドに立ち寄った際、ギフトショップに立ち寄りしました。そのとき、お目当てのものがなかったので、「卍（まんじ）のついたものはありますか」と女の子に聞いた。しかし、彼女は「卍」が何なのか知らない。そこで私はポケットから第二次世界大戦時のドイツの勲章を取り出して、鉤十字を指さした。彼女はすぐに首を振りました。“いいえ、そんなものはありません！”と。

その間、私はトイレを訴えることになった。座ってみると、ドアに卍のステッカーが貼ってあった。寂しそうだったので、そのすぐ横にNSDAP・AOのステッカーを貼っておいた。



NS KAMPFRUF
KAMPFSCHRIFT DER NATIONALSOZIALISTISCHEN DEUTSCHEN ARBEITSPARTEI AUSLANDS- UND AUFBAUORGANISATION

Der Kampf geht weiter !

Seitlich Jahre nach der Kapitulation der Wehrmacht am 8. Mai 1945 ist die nationalsozialistische Bewegung stärker als je zuvor in der Nachkriegszeit. Und zwar nicht nur in Deutschland, sondern auf globaler Ebene!

Jahrzehnte von Massentötung, Verdrängung und Verleumdung haben nicht ausgereicht, die Kräfte der germanischen Rassen hoch gelichteten Führers Adolf Hitler zu vernichten.

Alle Nationalsozialisten sind weniger affektierte Völker- und Rassenmenschen als ein Schächer im Kampf um die Erhaltung unserer weißen Völker.

Der Bewegung ist zwar militärisch gelungen, aber die Größe des biologischen Volkstums ist heute noch viel größer als in der Vergangenheit.

Der vorwichtige Gegner ist aber dabei, dem Volkstum – gegen alle weißen Völker (?) – zu begehen. Seine Mittel sind Entnazifizierung, Überforderung und Kastenzerstörung.

Ein "Tag" oder "Nacht", ob im Waldkampf oder im Straßenkampf, ob als Propagandakampfer freiwillig oder auf einem Schlachtfeld anderer Art. Jeder Nationalsozialist hat seine Pflicht!

Hitler
Gottfried Lönck




N.S.ニュース速報A
www.nsdapao.org
#1005 19.06.2022 (133)
NSDAP/AO: PO Box 6414 - Lincoln NE 68506 - USA

フロントレポート
モリーへのインタビュー

第3部

NSDK: 現在のプロジェクトは、明らかに哲学的で、アートに関連したものですね。

このような話題が政治に与える影響について、あなたの考えをお聞かせください。

モリーです。フォトギャラリーの更新は続いています。主にAdolf Hitler and the Army of Mankind (www.mourningthescient.com/truth.htm)に集中して取り組んでいます。現在2ページですが、まだまだやることがたくさんあります。第二次世界大戦の勃発は、まさに情報の地雷原です。1つのことについて情報を探しても、さらに2つほど調べたいことが出てくる。まるで、埋も




the **NEW ORDER**

Number 179 (2022) Founded 1973 April 26, 2022 (126)

The Fight Goes On !

Seventy years after the capitulation of the Wehrmacht on May 8, 1945, the postwar National Socialist movement is stronger than ever not only in Germany, but throughout Europe.

Decades of mass murder, expulsion, persecution, and defilement have not sufficed to destroy the seed of the brilliant idea of our much loved Führer Adolf Hitler.

All National Socialists and other racially-aware consciences and racial kinemen fight our White folk.

The movement has indeed become stronger, but the danger of biological folk death is also much greater today than in the past.

The desperate enemy is in the process of committing genocide against all White folk. His means are neo-White immigration, culture distortion, and re-education.

Whether "tag" or "nacht", whether in election battle or street battle, whether armed with propaganda material or on a battlefield of a different kind, every National Socialist must do his duty!

Hitler!
Gottfried Lönck



NSDAP/AOは世界最大です 国家社会主義プロパガンダサプライヤー！

多くの言語での印刷物およびオンライン定期刊行物
多くの言語の何百冊もの本
多くの言語の何百ものウェブサイト



BOOKS - Translated from the Third Reich Originals!
www.third-reich-books.com



NSDAP/AO nsdapao.info